

目次

1. 寄稿 「環境的に持続可能な交通を目指して」(第7回)
「EST推進 その傾向と対策？」
【環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会委員 加藤 博和】
2. 寄稿 「地方から全国に向けた情報発信！」(第7回)
「人と環境にやさしい先進的な交通まちづくりを目指して」
【豊田市都市整備部交通政策課 主査 伊藤 貴子】
3. ニュース/トピック
EST 普及推進フォーラム終了、一部をテレビ放送予定【EST 普及推進委員会】
「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律案」が閣議決定【国土交通省】
「鉄道、バス等の地域公共交通の活性化や改善の具体的方策について」のアンケート結果を公表【国土交通省】
「地球温暖化対策とまちづくりに関する検討会」の報告書素案まとまる。【環境省】
「2050年にCO2を70%削減した低炭素社会は実現可能」【脱温暖化2050プロジェクト】
第2回環境にやさしい自動車(EFV)国際ワークショップを開催【国土交通省ほか】
北陸鉄道ICカード乗車券を利用したエコポイントスタート【金沢市ほか】
都営駐車場でカーシェアリング事業者を募集【東京都ほか】
「第二世代バイオディーゼル燃料」の実用化に向け、共同プロジェクト【東京都ほか】
4. イベント情報
JCOMM 賞の募集
交通環境セミナー「自動車利用を考える」
交通まちづくりフォーラム KOBE・2006
公共交通利用促進フォーラム
第4回全国バスマップサミット
モビリティ・マネジメント シンポジウム
秦野の交通スリム化に向けて～企業と生徒の交流フォーラム
シンポジウム お出かけマップ作りから見える～こんなに便利な電車・バス～
エコドライブ推進シンポジウム ～地方自治体での取り組み～
平成18年度関西モビリティ・マネジメント研究会
アジアの市長による環境的に持続可能な交通に関する国際会議
第二回 日本モビリティ・マネジメント会議

5. その他

記事を募集しています！

1. 寄稿 「環境的に持続可能な交通を目指して」(第7回)

「EST推進 その傾向と対策？」

【環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会委員 加藤 博和】

(名古屋大学大学院環境学研究科助教授)

学生時代、8年弱にわたって塾講師として大学受験指導をしていた私から見て、ESTは大学受験と似たところがあると感じています。

志望大学に入るためには、試験に受かる実力をつけないといけません。実力がつく勉強法は人によって異なります。困ったことに、ESTには予備校も参考書も存在しません。今のところ、現場での地道で慎重な活動あるのみです。

京都議定書は第一回全国模試のようなものです。いい点を取らないと今後に影響しますが、取ったといっても、勉強を続けなければすぐに偏差値は下がってしまいます。大切なのは、すぐには結果が出なくとも着実に実力をつけることです。受験生や親は直近の成果を期待しがちです。ESTも、数十年後に現在比50%以上のCO2削減を達成する社会を実現することが本来の目標です。そのためには、住民意識の変革を突破口に、都市構造やライフスタイルを変えていく息の長い取り組みが求められます。

やりたいことが別にあるが、いい大学に入ることがまず大事だと言われて勉強する生徒が多い点も似ています。地球環境問題に対して自治体や地域が自発的に取り組むことは考えにくいでしょう。ただし、受験勉強をサボってもせいぜい家族に迷惑がかかるくらいかもしれませんが、ESTをサボると将来の人類全体に迷惑を及ぼします。まさに、「将来世代の発展を現在世代が阻害しない」という「sustainability」の理念を交通の分野でいかに実現するかが問われているのです。私も、塾講師時代のように「指導」とはいきませんが、意識を共有できる皆様と協力してEST推進に現場で取り組んでいきたいと考えていますので、お気軽にお問い合わせいただければ幸いです。

2. 寄稿 「地方から全国に向けた情報発信！」(第7回)

「人と環境にやさしい先進的な交通まちづくりを目指して」

【豊田市都市整備部交通政策課 主査 伊藤 貴子】

本市は、環境負荷の小さい持続可能な交通環境を実現するため、TDM施策の推進やITS技術を活用した総合交通対策に取組み、「人と環境にやさしい先進的な交通まちづく

り)を進めています。平成16年度にはこれらの取組みが評価され、ESTモデル事業の実施地域に選定されました。

モデル事業の方針として以下の5つの方策を掲げています。

ITSを横断的に活用し、すべての交通施策を有機的に連結して、まちづくりの中でTotal Planを実現する

利便性の高い公共交通の整備と利用促進【公共交通分担率の向上】

人と環境にやさしい安全で快適な道路づくり【渋滞の緩和】

すべての人にとって使いやすい空間の創出(ユニバーサル化)【ライフスタイルの変化】

自動車排気ガス対策の推進と環境にやさしい行動の実践【環境負荷の低減】

これらの方針の下、平成19年度の公共交通機関利用者数を平成13年度比7.2%増にすることを目標に掲げ、道路ネットワークの整備やTDM、エコドライブの推進、それらを支えるITSの推進等25の事業を着実に進めています。

初年度の平成17年度には、目標値を大きく上回り一日平均公共交通利用者数で約14%の増加、二酸化炭素削減量6万tCO₂/年の実績を得られました。

本事業は平成19年度末にて実施期間終了となりますが、今後も土地利用の転換や30分交通圏域の拡大、公共交通網の整備等、中長期的視点にたった社会基盤整備を推進し、より環境負荷が小さい交通社会を目指して行きます。

本市交通施策の総合的な取り組みについては「みちなびとよた」1にて紹介していますので、ご参照下さい。

1 <http://michinavitoyota.jp/>

3. ニュース/トピック

EST 普及推進フォーラム終了、一部をテレビ放送予定【EST 普及推進委員会】

EST 普及推進委員会が主催し、関係省庁、関係団体が後援して2月14日に東京で開催したEST 普及推進フォーラムは、悪天候にも拘らず、全国から約300名の方々にご参加いただきました。フォーラムの内容は追って環境省等のホームページで公表される予定です。また、パネルディスカッションの様子は4月15日(日)午後6時からNHK教育テレビの「日曜フォーラム」で放送される予定です。

<http://www.estfukyu.jp/forum.html>

「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律案」が閣議決定【国土交通省】

地域公共交通の活性化・再生に関して、市町村を中心とした地域関係者の連携による取組を国が総合的に支援するとともに、地域のニーズに適した新たな形態の旅客運送サービスの導入円滑化を図るため、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律案」が閣議決定され、今国会に提出されました。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/01/010209_2_.html

「鉄道、バス等の地域公共交通の活性化や改善の具体的方策について」のアンケート結果を公表【国土交通省】

国土交通省が上記テーマで国土交通行政インターネットモニターを対象に実施したアンケート調査の結果が公表されました。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/00/000207_.html

「地球温暖化対策とまちづくりに関する検討会」の報告書素案まとまる。【環境省】

地方都市の構造的問題を中心に、都市に端を発する諸々の問題を分析し、主に地球温暖化対策の観点から持続可能な都市のあり方について検討をおこなってきた「地球温暖化対策とまちづくりに関する検討会」(座長・三上岳彦首都大学東京教授)が報告書素案をまとめました。(近日中にこちらの URL で公表予定)

<http://www.env.go.jp/council/27ondanka-mati/yoshi27.html>

asahi.com でも紹介されています。

<http://www.asahi.com/life/update/0223/006.html>

「2050年にCO2を70%削減した低炭素社会は実現可能」【脱温暖化2050プロジェクト】

環境省地球環境研究総合推進費の戦略的研究プロジェクトとして2004年にスタートした「脱温暖化2050プロジェクト」は、「我が国が2050年までに主要な温室効果ガスであるCO2を70%削減し、豊かで質の高い低炭素社会を構築することは可能である」と結論づける研究成果報告を公表しました。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=8032>

<http://www.nies.go.jp/whatsnew/2007/20070215/20070215.html>

第2回環境にやさしい自動車(EFV)国際ワークショップを開催【国土交通省ほか】

国内外における環境にやさしい自動車(EFV)の開発、普及状況について理解を深めることを目的として、2月19日と20日、早稲田大学において第2回環境にやさしい自動車(EFV)国際ワークショップが開催されました。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/01/010223_2_.html

北陸鉄道ICカード乗車券を利用したエコポイントスタート【金沢市ほか】

ICa(北陸鉄道ICカード乗車券)を活用してバスや買い物でポイントを貯め、バス運賃として利用するエコポイントが2月1日、金沢市でスタートしました。

<http://www.city.kanazawa.ishikawa.jp/koutsuu/eco-point/eko-point.htm>

http://www.hokutetsu.co.jp/ic/ecopoint/ecopoint_01.pdf

都営駐車場でカーシェアリング事業者を募集【東京都ほか】

東京都と(財)東京都道路整備保全公社では、都営駐車場で初めてカーシェアリングを導入するため、事業者を募集しています。通常の約 1/3 の駐車料金でカーシェアリング事業者に提供し、普及・支援を図ろうというものです。

<http://www.metro.tokyo.jp/INET/BOSHU/2007/02/22h2q100.htm>

交通エコロジー・モビリティ財団が今年 1 月におこなった全国のカーシェアリング実施事例調査によると、カーシェアリングの会員数 2,512 人、車両数 239 台、車両ステーション数は 128 か所でした。1 年前と比べ、会員数は 5 割近く増え、車両数とステーション数は倍増しました。

http://www.ecomo.or.jp/topix/jouhounet_zenkoku%20no%20cs%20jirei%20ichiran.htm

「第二世代バイオディーゼル燃料」の実用化に向け、共同プロジェクト【東京都ほか】

東京都、新日本石油、トヨタ自動車、日野自動車は、最新技術を活用した「第二世代バイオディーゼル燃料」の実用化に向けた共同プロジェクトを始めることとなりました。2007 年度中を目処に、都営バスを使ったデモ走行が実施されます。

<http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2007/02/20h26400.htm>

4. イベント情報

JCOMM 賞の募集

期間:2007 年 3 月 1 日～31 日

実施主体:JCOMM 実行委員会

概要:国内の MM 技術・実務に貢献した個人や組織を対象に、賞を設けることとなりました。候補対象: JCOMM マネジメント賞・JCOMM デザイン賞・JCOMM 技術賞

<http://www.plan.cv.titech.ac.jp/fujiilab/jcomm.html>

交通環境セミナー「自動車利用を考える」

日時:2007 年 3 月 3 日(土)14:00～15:30

場所:アーバンデザインセンター柏の葉(つくばエクスプレス柏の葉キャンパス駅前)

実施主体:関東地方環境事務所(問い合わせ先:048-600-0815、担当:横山)

概要:クルマと環境に関するお話と、今すぐにできる「地球にやさしい交通」の実践学(講師:原田昇東京大学教授)

交通まちづくりフォーラム KOBE・2006

日時:2007 年 3 月 3 日(土)13:30～16:30

場所:神戸国際会館9階(神戸市中央区御幸通8-1-6)

実施主体:神戸市EST推進協議会、環境省近畿地方環境事務所

概要:神戸大学教授庄司氏による基調講演をはじめ、横浜カーフリーデー実行委員長
大内氏の特別報告、パネルディスカッション等

公共交通利用促進フォーラム

日時:2007年3月3日～4日

場所:仙台市市民活動サポートセンターほか

実施主体:特定非営利活動法人まちづくり政策フォーラム

概要:公共交通についてのリレーセッション、セミナー、フォーラム(環境省EST主体間連
携事業)

<http://machifo.com/koutsuu/A3.pdf>

第4回全国バスマップサミット

日時:2007年3月3日～4日

場所:仙台市市民活動サポートセンターほか

実施主体:全国バスマップサミット実行委員会

概要:サミット会議、交流会、仙台バス乗り体験

<http://machifo.com/koutsuu/B3.pdf>

モビリティ・マネジメント シンポジウム

人に街にやさしい公共交通～かしこいクルマの使い方を求めて～

日時:2007年3月4日(日)13:30～16:40

場所:奈良県新公会堂 能楽ホール

主催:奈良県モビリティ・マネジメント協議会

<http://www.estfukyu.jp/pdf/naramm.pdf>

秦野の交通スリム化に向けて～企業と生徒の交流フォーラム

日時:2007年3月10日(土)10:00～12:00

場所:秦野市立本町公民館2階大会議室

主催:関東地方環境事務所(問い合わせ先:048-600-0815、担当:横山)

共催:秦野市

概要:話題提供:「秦野の星空とCO2削減」

プレゼンテーション1:ノーマイカー運動等に取り組んでいる秦野市内企業からの発表

プレゼンテーション2:家族の自動車利用に関する調査を行った市立南が丘中学校

生徒からの発表

シンポジウム お出かけマップ作りから見える～こんなに便利な電車・バス～

日時:2007年3月14日(水)13時30分～17時

場所:京都市子育て支援総合センター「こどもみらい館」

<http://www.kodomomirai.or.jp/access2.html>

主催:京都府地球温暖化防止活動推進センター(NPO 法人京都地球温暖化防止府民会議)

概要:京都府地球温暖化防止活動推進センターでは京都府内の地域の方々・京都府・市町村・鉄道バス会社などと連携して、「かしこい車の使い方を考えるプログラム」(目的地や場合によっては車より公共交通の方が快適で便利な移動であることを、車利用者に情報提供する取組)の一環として、複数の鉄道・バス会社の路線図・時刻表・乗り換え情報などを地図と同時に提供する「お出かけマップ」の取組を進めており、多くの地域で公共交通利用の促進につながる成果が出ています。この度、府内各地の取組の成果をわかちあい、今後の展望を議論するとともに、関心のある府民に情報提供するためのシンポジウムを開催します。

エコドライブ推進シンポジウム ～ 地方自治体での取組み～

日時・場所:

東京会場 2007 年 3 月 15 日(木)13:20～16:20 東京ウイメンズプラザ ホール

大阪会場 2007 年 3 月 26 日(月)13:20～16:20 テイジンホール ホール

主催:エコドライブ普及連絡会(警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省)

<http://www.eccj.or.jp/ecodsympo/>

平成 18 年度関西モビリティ・マネジメント研究会

『関西におけるモビリティ・マネジメントの取り組み』

～ 持続可能な交通社会の実現に向けて ～

日時:2007 年 3 月 16 日(金)13:30～17:30

場所:大阪市立男女共同参画センター東部館(クレオ大阪東) ホール

主催:近畿運輸局

アジアの市長による環境的に持続可能な交通に関する国際会議

期間:2007 年 4 月 23～24 日

場所:国立京都国際会館(京都市左京区)

主催:環境省、国際連合地域開発センター(UNCRD)、アセアン環境的に持続可能な都市に関する作業部会(AWGESC)、財団法人地球環境戦略研究機関

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=7944>

第二回 日本モビリティ・マネジメント会議

日時:2007 年 7 月 27 日(金)～7 月 28 日(土)

場所:北海道札幌市 札幌コンベンションセンター

主催：(社)土木学会、国土交通省(予定)

共催：(社)北海道開発技術センター

<http://www.plan.cv.titech.ac.jp/fujiilab/jcomm.html>

5. その他

記事を募集しています！

本メールマガジンへの掲載記事を募集しています。EST、または「交通と環境」に関連する
取り組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。

E-mail:XXXXXXXXXXXXXXXX(担当:市丸)

=====

発行：環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局

(交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

http://www.estfukyu.jp/mailmagazine_cancel_form.html

EST ポータルサイト：<http://www.estfukyu.jp/>